

5月23日例会

『三団体合同例会』

三団体（高萩 JC・高萩 LC・高萩 RC）
合同例会

2023. 5. 23 18:00～
国民宿舎「鶉の岬カントリープラザ」

<高萩 JC 守屋真人理事長挨拶>



マスクを外しての三
団体合同例会 4年振
りです。今年の高萩
JCのスローガンは
「ガンガンいこうぜ」
を掲げ、新しい収益事
業を実施しました。

4月23日に街づくりの一環として「アマチュアボクシング・キックボクシング大会」を市民体育館で開催し、来場者2,500人と大成功でした。今後は7月15日に「55周年記念式典」を、8月12日に記念事業「花火大会」を復活させます。皆様ご協力願います。

<高萩 LC 田中昭祥会長挨拶>



高萩 LCは今年で56
年になり、地域に密着
した奉仕団体として、
献血・献血活動、小中
学校での薬物乱用防
止教室、少年野球・サ
ッカー大会支援、盲導

犬支援募金活動等を柱に奉仕活動に取り組んできました。

今年新規事業の国際社会奉仕貢献活動としてアフガニスタンの子どもたちにランドセル40個を届けました。

<高萩 RC 大河原浩会長挨拶>



三団体合同例会今年も無事開催でき、JCの皆様ありがとうございます。高萩 RCでは、創立54年目に当たる2024~25年度に大高会員がRI第2820地区

ガバナーに就任します。クラブとして初めての出来事であり、良い意味での大きな転機になります。歴代の会員が築いた歴史や伝統が、これからクラブを背負う若手会員につながる節目の年になります。地区のホストクラブの経験を共有することは高萩 RCにとって、大切な歴史の一頁になります。

RC,LC,JCは100年前に日本に誕生し、高萩には約50年前に根を下ろしました。各団体とも会員が力を合わせ未曾有の災害を乗り越えたわけで、将来クラブの歴史に残ります。

歴代の先輩方に敬意を表するとともに協力して頑張りましょう。

月 日	プログラム	担 当	5月23日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
5月31日	外部卓話	プログラム委員会			
6月 7日	次年度計画フォーラム	プログラム委員会	26	13	13
6月14日	次年度への引き継ぎ	各委員会	出席率：50.00%		
6月21日	一年回顧	会長・幹事	前々週訂正： %		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内

TEL/FAX：0293-24-0505

■URL： <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail： takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：大河原 浩
幹 事：菱川 健司

例 会：水曜日12:30～13:30：第2水曜 7:30～

公共イメー ジ向上委員会：石平光、小森勇一、大高司郎
石君平、田所和雄、今川隆、平野浩司、滝徳宗

四つのテスト 言行はこれに 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか 照らしてから

<来賓 大部勝規 高萩市長挨拶>



JCの皆様、先日のアマチュアボクシング大会は画期的な事業で、街づくりに大いに寄与していただきありがとうございました。

LC, RCの皆様にも市政全般にご協力いただき感謝しております。高萩市の人口は26,500人を切り持続可能な街づくり——老人、障害者、未来を担う子どもたちに優しい街を作ることが求められています。高萩市でも、20年後には人口2万人を割るかもしれない状況で、コンパクトな町を目指して、幼保一元化、施設のアセットマネジメント、小中学校適正配置計画を立てています。

日立市、北茨城市は給食費を無料にしましたが、高萩市では協同病院に1.5億円を支援し、産婦人科医一名を確保しました。

今後、ふるさと納税に力を入れ、給食費の無料化を進めたいと考えています。

今後とも皆様のご理解をいただき、町づくりを進めて参ります。

<ベビーファースト推進セミナー>

公益社団法人日本青年会議所

地域経済創出委員会副委員長 小林 智 様



ベビーファースト運動とは、子どもを産み育てたくなる社会を実現するために、企業・自治体・個人が妊産婦をはじめ、子育て世代が過ごしやすい環境を醸成することを目指す運動です。

ベビーファーストな社会を実現するための取り組みは、業種・業態に関係なく行える、その中で自分たちならできる、自分たちにしかできないアクションを行い、その輪が広がること社会全体がベビーファーストな社会に変わっていく。

2021年にJCが提唱した運動で、参加

企業170社、参加自治体75以上で、ベビーファーストを宣言して取り組んでいる。

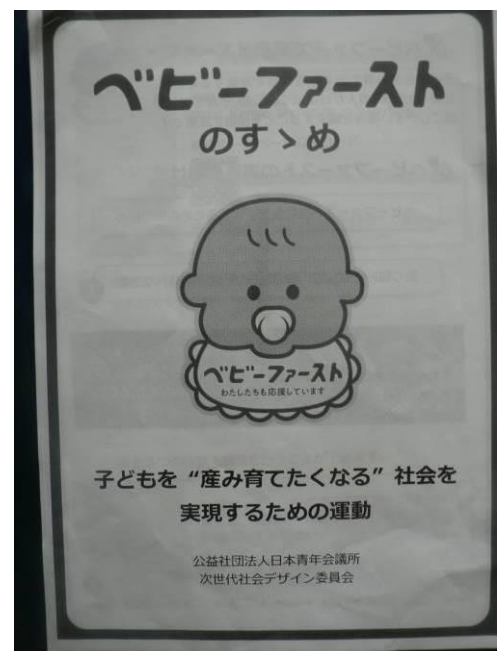
日本の2022年の出生数は80万人で、2010年の出生数107万人を大きく下回っている。



日本は、子どもを産み育てにくいと思っている人の割合は6割を超えている。

具体的な運動の例を挙げると、「妊婦優先レジレーン」、「キッズスペースの確保」、「お子様メニューの優先調理提供」、「従業員の産休・育休取得推奨」、「思いやり駐車場」等々様々なアクション宣言をして活動している。

皆様も、ベビーファースト運動に参加して下さい。



【幹事報告】

1. 2022～23 第2回会長・幹事会のプログラム
2. 大久保年度の現況報告のデーターについて
3. 公益社団法人茨城青少年育成協会より令和5年度賛助会費納入について



高萩 RC 大河原会長 乾杯



米山奨学生 黄さんも出席



【ニコニコ BOX】

大平敏明さん：ライオンズ、JC から元気をも
らいましょう。

小森勇一さん：三団体合同例会、ご苦労様で
す。

鈴木啓志さん：三団体合同例会、楽しみです。

石君平さん：久しぶりの三団体例会です。
JC の皆様お世話になります。

江尻寛さん、平野浩司さん、大河原浩さん、
小谷松政紀さん、今川隆さん、滝徳宗さん

本日計 7,000円

累計 611,000円

【ロータリー財団寄付】

本日計 0円

累計 448,194円

【ポリオプラス寄付】

本日計 0円

累計 77,966円

【米山記念奨学会寄付】

本日計 0円

累計 279,000円